

#131 MUSICASA CONCERT

TAKUYA

KURODA

JAZZ

2017  
10.3 TUE

OPEN 18:30 START 19:00

<パーティ付 / 終演後> 一般 ¥8,000 学生 ¥4,000  
<コンサートのみ> 一般 ¥5,000 学生 ¥2,500

Takuya Kuroda	Jazz Tp
Akihiro Nishiguchi	Sax
Takeshi Ohbayashi	Pf
Kunpei Nakabayashi	B
Tomoaki Kanno	Dr

※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。



MUSICASA

Tel 03 5454 0054 Fax 03 5454 0053 Mail piano@musicasa.co.jp





黒田卓也

1980年、兵庫県生まれ。12歳からトランペットを始め、中学・高校・大学を通してビッグバンドに所属。学校ではカウントベイシー、グレンミラーなどのレパトリーを演奏する傍ら、神戸、大阪のジャズクラブにて16歳から演奏を始め。

2003年に渡米し、ニューヨークのジャズ・スクールの総本山、ニュースクール大学ジャズ科に進学。在学時からSmalls, Blue Note New York, Radio City Music Hall, Knitting Factory, SOB's, Joe's Pub, 55Barなど各有名クラブに出演するなど、精力的に活動。卒業後もニューヨークを拠点に、JAZZは勿論、アフロビート、ゴスペル、ファンク、ラテン、ソウルなど様々なジャンルに精通する。2010年には、自身初のリーダーアルバム「Bitter And High」をリリース、レコーディングメンバーと共に日本ツアーをし、その名を徐々に広げていく。

2011年にリリースした2枚目のアルバム「Edge」はJAZZWEEK.COM<jazzweek.com>のTOP50JAZZ ALBUMSで3位にランクインされ、アメリカ最大のラジオ局National Public Radioでは「ディジーガレスピーを彷彿」と大絶賛される。その頃にシンガー ホセジェイムスと出会い「Black Magic」に参加、正式にホセのバンドメンバーとして世界ツアーに同行、また2013年に発表されたホセのアルバム「No Beginning No End」のホーンアレンジを担当する。

2014年には名門ブルーノートと日本人としては初の契約を果たしメジャーデビュー作「Rising Son」、2016年には西海岸の老舗メジャーレーベルより「Zigzagger」を発表。また、日本国内では報道ステーションの新テーマ曲をニューヨークで活躍する日本人グループ、ジェイスquadの一人として携わっている。ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から、DJ Premier, JUJU, CERO, MISIA, Antibalas, Orange Pekoe, Akoyaなど様々なアーティストとのコラボレーションを展開している。



西口明宏

1980年兵庫県生まれ。中学入学と同時にビッグバンドジャズに出会いテナーサクスを手にし、18歳より小曾根啓氏にサクスを師事、京阪神エリアで演奏活動を始め。

2004年に渡米。ポストンバークリー音楽学院にて学び、卒業後は活動拠点をニューヨークに移し、多くのミュージシャンと出会いセッションを重ねると共に、自己グループによるNYライブハウスでのレギュラー演奏を行う。また、映像やダンスなど他ジャンルとの共演、即興音楽、ラテン音楽、ミュージカルでの演奏など幅広く活動する。

2010年にニューヨークでの活動から東京に拠点を移し、同年にNYでのグループでの録音によりレーベルD-Musicaより、デビューアルバム「Tre Agrable」をリリース。続いて2013年には2作目となる「PINGO」をリリース。

現在は自己のグループをはじめ、メガテラス、安川川大樹(bs)、大坂昌彦(ds)、堀秀彰(pf)、古谷淳(pf)、海野俊輔(ds)などのグループに参加。2014年にはブルーノート75周年記念ライブのメンバーに抜擢され、日野皓正(tp)、山中千尋(pf)、ロンカーター(bs)、ジーンジャクソン(ds)とのグループでブルーノート東京に出演、また2016年デトロイトジャズフェスティバル・ジャズコンペティションで最優秀賞を受賞。2017年に自身のグループでデトロイトジャズフェスティバルに出演が決定している。その他、葉山ジャズフェスティバル、サマージャズレヴューションやNHK FM Sessionなど大舞台への出演や画家 柏原晋平氏とライブエンディングでの共演、幅広く活動するとともに、近年はサクスマガジンなど専門誌に教則メソッドの執筆等も行い後進の育成も精力的に行っている。



中林 薫平

1981年生まれ。高校入学と同時に甲南高校ブラスアンサンブル部に入学し、ウッドベースを始め。2003年守口・門真ジャズコンテストでは、グランプリ、ベストプレイヤー賞を受賞。卒業後、日野皓正、吉田次郎、嶋本高之らと共演し、2005年に上京。山口真文バンド、佐山雅弘トリオ、鈴木勲「OMA SOUND」、市原ひかりGroup、古谷淳トリオ、清水絵理子トリオ等でプレイする。

2008年に自己のカルテットを結成し、ミニアルバム「Graffiti」をリリース。2012年には全てオリジナル曲によるセカンドアルバム「The Times」をリリース。2012Jazz page人気投票においてベストインストアルバム部門で1位を獲得。同時に同サイト上で2012ジャズマンオブザイヤーを獲得する。

ジャズだけでなくポップスのサポート、海外からのミュージシャンのサポート、国内外の音楽イベントやジャズフェスティバルへの出演、ベーシスト3人だけの自己のバンドや、CM音楽の録音、劇団とのコラボレーションなど活動は多岐にわたる。



大林 武司

1987年広島県広島市出身。2歳からピアノを始め音楽に慣れ親しむ。7歳の時一度ピアノから離れるも、18歳の時ジャズに傾倒しこの時よりピアノを本格的に学び始める。その後バークリー音楽院奨学金試験にて最高額を受給し、2007年バークリー音楽院に入学。ピアノをDanilo Perez, Joanne Brackeenに師事。音楽理論、演奏法をTiger Okoshi, Hal Crook, Dave Santoro, Terri Lyne Carrington, Darren Barrett, Greg Osby, Ralph Peterson Jr.に師事。

在学中より本格的にプロ活動を開始し、Hailey Niswanger Quartet, Terri Lyne Carrington Group, Felix Peikli Quintet, Jesse Scheinin Band, Erena Terakubo Quartet, Beantown Swing Orchestra等様々なバンドのギグやツアーに参加し、北米、南米、ヨーロッパ、アフリカの様々なジャズフェスティバル、ジャズクラブに出演。

2010年から学校が新たに設立したジャズアーティスト育成機関Berklee Global Jazz Instituteにオーディションを経て編入。Joe Lovano, John Patitucci, Ben Street, Dave Liebman, Eddie Gomes, Antonio Sanchez等の一流ミュージシャンと共に研鑽を積みながら、世界各地でコンサート、現地のミュージシャンへのクリニックを経験。

また在学中多数のコンペティションに参加し、Montreux Jazz Festival Solo Piano Competition 2007年度セミアファイナリスト、フロリダで毎年行なわれる全世界の若手ジャズピアニストの登竜門であるJacksonville Jazz Piano Competitionでは2009年度三位入賞。2009年度横浜ジャズプロムナードコンペティションでは自己のピアノトリオを率い「ベストプレイヤー賞」「横浜市民賞」「よしだまちアートジャズ賞」を受賞。

2011年5月にバークリー音楽院を卒業し、自主制作アルバム「Introducing Takeshi Ohbayashi」を発表し、ジャズ情報誌Way Out Westの2011年度BestCDにノミネートされる。2013年にはアルバム「Feelin' Lucky」を発表し日本ツアーを行い全国各地で好評を得る。

現在はニューヨークを拠点に自己のバンドやUlysses Owens Jr.との共同プロジェクトNew Century Jazz Quintet, サイドマンとしてはTakuya Kuroda, Charles Turner III, Brianna Thomas, Michela Marino Lerman, Felix Peikli, Darren Barrettの各バンドで活動している。また作編曲活動やジャズの普及、教育活動にも力を入れている。これからの活躍が期待される注目の若手ピアニストである。



菅野 知明

1976年4月27日生まれ。5歳でピアノを習い始め様々な楽器を経て14歳からドラムを叩き始める。高校卒業後、東京コミュニケーション専門学校にてドラムの基礎を学ぶ。その後2000年にアメリカニューヨークに渡米。2001年ニューヨークのニュースクール大学 ジャズ アンドコンテンポラリーミュージックプログラム入学。在学中はレジャーワークマン、レニー ホワイト、ジョジョ マイヤーなどに師事。2005年、同大学卒業。その後はMKグループオーケストラ、ザ ダガーブラザーズ、大江千里クインテッド、ベックパーガーグループ、サロン クレンショーバンド、YAZバンドなどでドラムを担当。現在までにゴードン エドワーズ、サム ヤヘル、グラント グリーンJr、ジェイソン リンダー、マル コベネベントを初め、ニューヨークの様々なアーティスト達と競演。その他にも現在までにブルーノート ニューヨーク、ブルーノート東京、同名古屋、55バー、ビターエンドなどのクラブ、ローチェスタージャズフェスティバル、シラキュース ジャズフェスティバル、ハートフォード ジャズフェスティバルなど様々なフェスティバルにも参加。2006年にはJUJUの3枚目のシングル「奇跡を望むなら」のレコーディングにも参加。2014年星空のライヴVIIよりMISIAツアーに参加している。

■ お問い合わせ・チケット<1回券>申込み

2017年10月3日(火) 18:30開場 19:00開演

<パーティ付/終演後> 一般 ¥8,000 学生 ¥4,000  
<コンサートのみ> 一般 ¥5,000 学生 ¥2,500  
\*全席自由

ムジカーザ

Tel:03 5454 0054 Fax:03 5454 0053  
Mail to:piano@musicasa.co.jp

お名前・電話番号・券種・送付先住所をご連絡の上、チケット代金を下記までお振込みください。

\*振込手数料はご負担願います

各口座名義：(有)ムジカーザ

- 三菱東京UFJ銀行  
代々木上原支店 [普] 0471778
- ゆうちょ銀行  
〇一九(ゼロイチキュー)店 [当] 0549564
- 郵便振替 00160-8-549564

◎ 今後のムジカーザコンサート

第132回 12/8(金) 19時  
黒木岩寿プロデュースシリーズII「室内楽の夕べ」

■ アクセス

151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1  
小田急線・千代田線「代々木上原」東口 徒歩2分  
(京王新線「幡ヶ谷駅」南口 徒歩12分)

